

# ピアホームだより

2014. 1. 10

## 新年を迎えて

今年4月に、アドボケート会就労継続B型事業  
リトルハウス作業所の移転を予定しています。

開所当初、やっとの思いで施設を見つけた  
時の喜びを思い起こしています。色んな方とお  
話しする機会を得ましたが、面と向かって差別  
を口にする時代は過ぎたと感じました。それ  
でも普通の施設を確保することは大変困難で  
した。

それから10年、NPO法人となり、グループホ  
ーム事業も開始して、精神障害者の社会復帰  
施設としての体裁を整えて来ました。

一区切りを経て、本年のNPO総会において、  
リトルハウスの移転・グループホーム卒後の住  
まいを設立して行くという長期的事業計画を計  
って来ました。幸い運営は順調です。元気なう  
ちに事業の充実を計って行きたいものです。

新しい作業所となる施設には200平米以上

の空間を確保できました。精神障害者の復帰  
施設として次なる目標を持って力が続く限り進  
めて行きたいと考えています。

## 第36回家族と専門家の交流会(続き)

閉じこもった病者をいかにして医療に繋げて  
行くか？いわゆる病職がなく一医療に繋ぐこと  
すら出来なくて家族が困り果てているケースが  
多々見受けられます。

聖ロカ病院の角田先生による訪問看護事業  
の発表を頂き、この設問を考えてみます。

訪問看護事業は、とても小回りが利き融通の  
利く制度のように感じました。訪問看護では、  
本人の同意がなくても家族の支援で関わって  
行くことが出来るそうです。聖ロカで行っている  
支援は医療的な支援に限らず日常生活を含む  
多岐にわたる支援でした。案外、訪問看護事  
業を利用することで関わりを拒んでいる病者に  
信頼関係を築き、医療へ繋げ繋げて行くことが  
出来るのではないのでしょうか？

何か制度による大掛かりな仕掛け？を期待し  
ていましたが、魔法の解決策などなく、やはり地  
道に説得して行くこと一訪問看護はそのことを  
教えてくれたように思いました。

## 70歳まで定年延長 千田 耕平

昨年12月、65歳となり、前期高齢者の仲間  
入りとなりました。この間に後継者が出て来て、  
私は非常勤で悠々自適と考えていましたが、事  
態は逆に進み、今や管理者・サービス管理責  
任者・世話人と全て引き受けるようになってしま  
いました。

GH事業は奥深いものがあります。まだまだ元  
気、今回の理事会で定年延長が承認されまし  
たので、皆さん引き続きよろしくね。

## 新任です 飯村 敦(ピアホームⅡ担当)

11月18日より世話人に就くことになりました。  
色々とお話しを聞きながら少しでも皆様の生活  
が良い方向に向かう様、尽力して行きたいと思  
っています。

世話人業務はほとんど初めてですので、ご迷  
惑をおかけすることがあるかもしれません。その  
都度ご注意ください。一日も早い世話人として  
お役に立てる存在になりたいと思います。

## 1月の行事

<1月15日>都自立生活支援課相談

<2月1日>クラブハウス町田評議会